

川の水位上昇にご注意ください ～フラッシュ放流で河床をリフレッシュ～

独立行政法人水資源機構^{みずしげんきこうきづがわ}木津川ダム総合管理所が管理する高山ダム^{たかやま}では、4月から、梅雨や台風に備えて貯水位を下げていきます。この貯水位低下の操作を利用して、次のとおりダム下流の河川環境に配慮した放流（フラッシュ放流）を実施します。

令和5年4月14日（金） 放流（増量）開始 9:30（予定）

放流（増量）終了 14:00（予定）

今回のフラッシュ放流は、ダムから放流する水を一時的に増やし、石などに付着した泥や藻類等を剥離させるなど河床をリフレッシュすることで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境へと改善を目指す取り組みです。

ダム下流の河川では、ダムのフラッシュ放流により徐々に水位が上昇し、南山城村^{おおがわらせんぼつきょう}の大河原潜没橋^{ありいちせんぼつきょう}地点及び笠置町の有市潜没橋^{ありいちせんぼつきょう}地点で最大約1.5mの水位上昇が見込まれます。さらに下流でも14日夜から15日明け方にかけて水上上昇が見込まれます。河川を利用される場合は十分注意してください。

また、当日はダムからのゲート放流開始に合わせた警報（放送、サイレン）を行うとともに、河川巡視を実施します。

取材にお越しの場合は事前に問い合わせ先まで、また当日の状況写真を希望される場合も問い合わせ先までご連絡ください。



令和5年4月11日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

学研都市記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

高山ダム管理所 所長 吉田（よしだ）

住 所：京都府相楽郡南山城村^{そうらくぐんみなみやましるむら}大字田山^{たやま}字ツルギ43

電 話：0743-94-0201

高山ダムにおけるダム下流河川環境に配慮したフラッシュ放流について

1. 目的

フラッシュ放流は、ダムから流下させる水を一時的に増やすことにより、下流河川内の攪乱を起こし、石などに付着した泥を流すものです。また、藻類等を剥離させ藻類の再生を促します。これらより、河床をリフレッシュさせ、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善を目的とした取り組みを行っています。

○ フラッシュ放流の実績

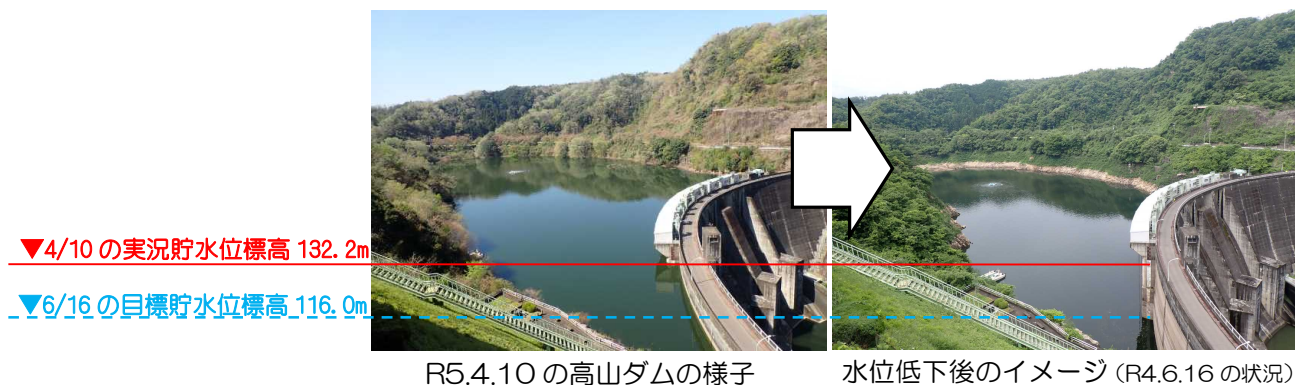
- ・ 高山ダム 平成 14 年度～ （計 16 回実施）

2. フラッシュ放流の概要

①ダム管理の現況

令和 5 年 4 月 10 日 9 時現在の高山ダムの貯水位は標高 132.20m にありますが、洪水期が始まる 6 月 16 日までに、梅雨や台風に備えて洪水調節容量を確保するため、洪水貯留準備水位の標高 117.00m 以下まで貯水位を約 16m 低下させる予定としています。

今回のフラッシュ放流は、この水位低下操作の一環として行います。



②フラッシュ放流の実施予定日時

日時：令和 5 年 4 月 14 日（金）9 時 30 分～14 時 00 分（予定）

※最大放流量は 1 時間程度継続

高山ダムからの最大放流量：毎秒約 150 立方メートル

放流する合計量：約 1,200,000 立方メートル

※フラッシュ放流予定日前後の気象条件等によっては、フラッシュ放流を中止する場合があります。

③フラッシュ放流時の放流の方法（非常用洪水吐からの放流）

下流河川で急激な水位変化を及ぼさないため、2 時間ほどかけて緩やかに増量し、最大放流量を 1 時間ほど保持したあと、2 時間ほどかけて緩やかに減量します。

施設の点検を併せて行うため、非常用洪水吐から放流を行う予定です。



通常の放流状況（利水放流管）



非常用洪水吐からの放流状況
（令和 3 年 4 月の事例）

④フラッシュ放流で期待する効果

過去のフラッシュ放流の実施状況から実施する前は、石の表面が藻類等の付着物に覆われていますが、フラッシュ放流後は、付着物が流され、石の表面が明瞭に確認できます。このように河川環境の改善効果を期待しています。



3. フラッシュ放流当日の河川利用に関するお願い

今回のフラッシュ放流によって、ダム下流の木津川では、次のとおり水位の上昇が予想されますので、河川の利用に際してはご注意ください。なお、フラッシュ放流時は放流開始前に放流警報（放送、サイレンを鳴らします。）・河川巡視を行い、河川利用者の方に河川から出ていただくことをお願いする場合がありますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・南山城村の大河原潜没橋地点及び笠置町の有市潜没橋地点：最大約1.5m水位上昇（最大放流量約150m³/sの放流期間 4月14日の午前11時から午後0時頃）

4. フラッシュ放流の見学等についてのお願い

下流河川では水位が上昇するので、見学される場合は、高山ダム管理所付近の安全な場所からご覧いただくようお願いします。なお、ダム堤体付近は道幅が狭く駐停車する場所がありません。駐車場等についてご案内しますので、見学を希望される方は、事前にご連絡をいただくとともに、当日は交通誘導員に従ってください。

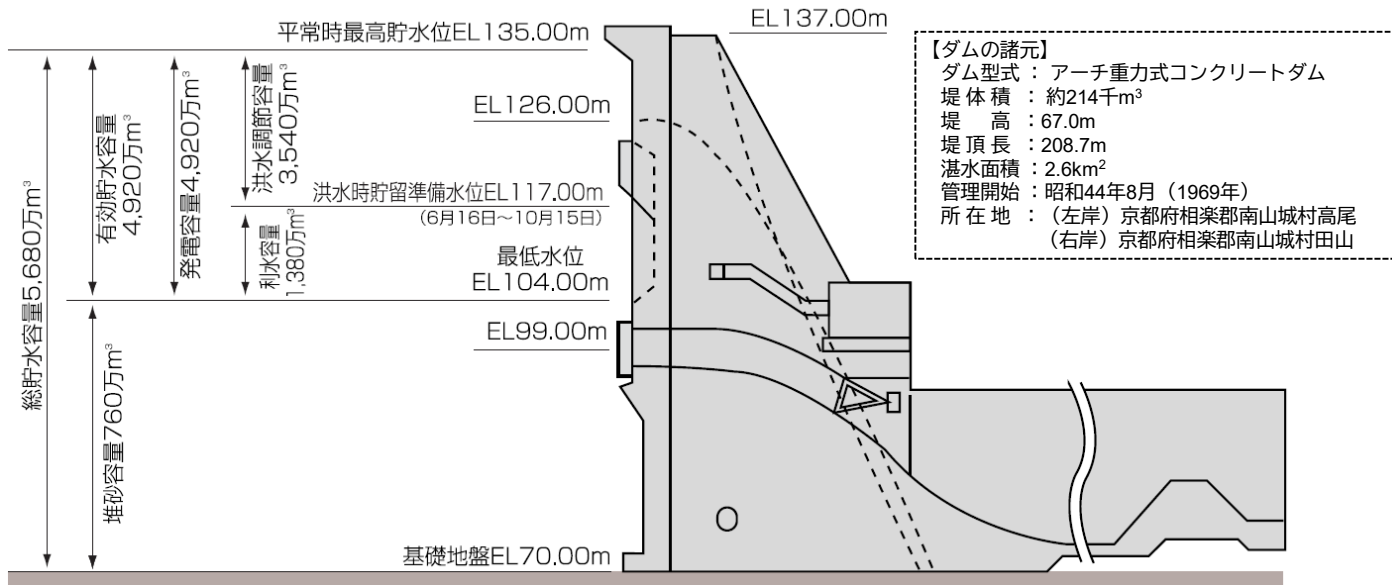
高山ダムの概要とフラッシュ放流に関する各地点



【ダムの目的】

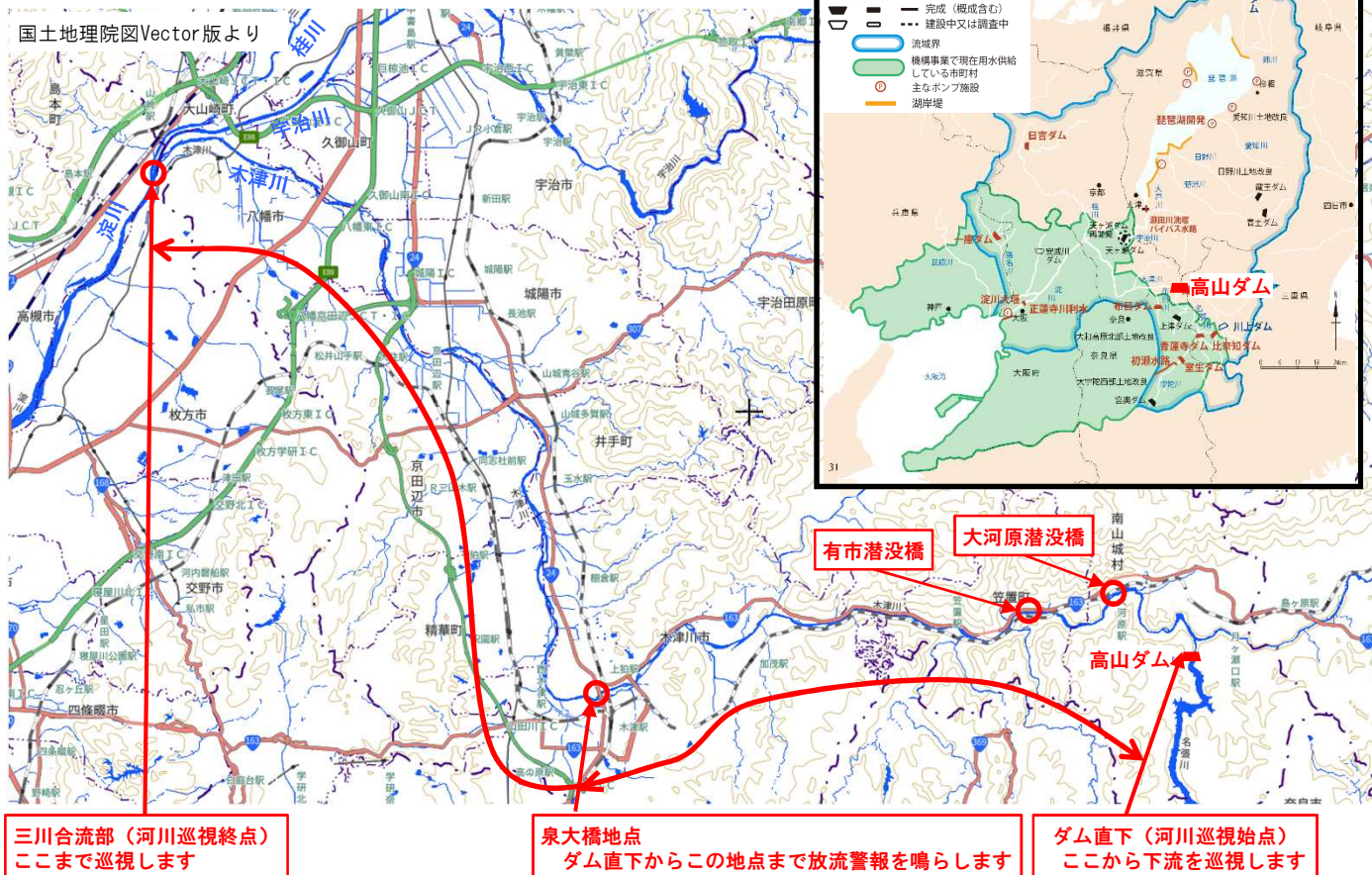
1. 洪水調節
下流域の洪水被害を軽減するため、1,300m³/sから調節
2. 河川環境の保全等
木津川沿岸の既成農地の既得用水／下流河川の環境保全等
3. 水道用水
阪神地区の水道用水 5.0m³/sを供給
4. 発電
関西電力(株)高山発電所 最大出力6,000kw

高山ダム貯水池容量配分図



高山ダム位置図

フラッシュ放流に関連する各地点



高山ダムフラッシュ放流を見学されるみなさまへ【お願い】

- ダム周辺への駐車は出来ませんので、管理所近くの駐車場をご利用ください
- ダム天端道路は行き違いが出来ませんので誘導に従って交互通行してください。
- 見学場所は下図の黄色囲いの場所をご案内しています。スペースが限られますので皆様にゆずり合い頂き、密にならないよう無礼なお願いいたします
- ダム周辺はUAVの飛行を禁止しております
- 府道上野南山城線に路上駐車しないようお願いします。



ダム堤体周辺が混雑している場合はこちらから迂回してお帰りください